

22 設備・機材・環境等

自店で使っている「設備や機材」を、どのような理由で選んで使用していますか？多くは、「今まで使っていたものがあったから、それを使っている」というものだと思います。ここでは、ネットショップに必要な設備や機材を学びます。自店の物を思い浮かべながら読んでみてください。

● ネットショップに必要な設備・機器

ネットショップを運営するためには、パソコン等の設備・機材が必要となる。また、スタッフが作業しやすいように、そうした機材を機能的に配置した作業環境も確保しなければならない。

◆ 設備・ソフトウェア

設備・機材としてまず揃えておく必要があるのはパソコン、プリンタ、デジカメの 3 つ。また、パソコンでネットショップ運営に必要な作業をするためには、画像編集用ソフト等のソフトウェアも必要になる。

パソコン

【用途】

ホームページの作成、商品写真の加工、顧客とのメール連絡等、ネットショップの構築から運営・管理まで、基本的には全てパソコンで作業する。

【パソコン本体】

デスクトップ型とノート型のどちらでも構わないが、モニターは大きいサイズのほうが作業しやすい。

【OS】

作業する上では、Microsoft 社の Windows シリーズと Apple 社の Mac OS X シリーズのどちらでもよい。ただし、開発元のサポートが終了した古い OS は、セキュリティー上の危険性が高いので使用しない。

プリンタ

22 設備・機材・環境等

<p>【用途】 商品を発送する際に使用する宅急便の送付状や、商品に同梱する納品書や請求書の印刷に利用する。</p> <p>【インクジェットプリンタ】 インクを微滴化し、被印字媒体に直接吹き付けて印刷するプリンタ。価格が安く導入しやすいが、一度に大量印刷するには不向き。印刷スピードの速さをチェックして購入すること。なお、大量印刷にはレーザープリンターのほうが向いているが、インクジェットよりも高価である。</p> <p>【ドットプリンタ】 ピンを縦横に並べた印字ヘッドをインクリボンに叩き付けることにより印刷するプリンター。複写式の送付状や伝票の重ね印刷する際に必要となるが、それ以外の用途ではあまり使われていない。宅急便の送付状も、現在はインクジェットやレーザープリンターで印刷可能。</p>
デジタルカメラ
<p>【用途】 商品撮影に使用する。ショップ運営者の日記等を掲載するネットショップも増えており、活用の場も広がっている。</p> <p>【デジタルカメラ選びのポイント】 最近のデジタルカメラは1000万画素を超えるものがほとんどで、Webサイトに掲載する写真の撮影には必要十分な性能を有している。デジタルカメラを選ぶ際の機能面のポイントは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none">・ズームしても画像が荒くならない光学ズームの搭載。・商品のアップ写真を撮影するマクロ機能。・写真の明るさを補正する露出補正機能。
その他の機器
<p>【スキャナ】 本やCD等、厚みのない商品の画像が必要な場合は、スキャナを利用する。印刷物に光を当てて読み取り、デジタルデータとしてパソコンに取り込むことができる。プリンタにスキャナ機能が付属した複合機というものもある。</p> <p>【外付けハードディスク等】 パソコン内のデータは、故障や誤操作による消失に備え、バックアップしておく必要がある。外付けハードディスクやUSBメモリ等のバックアップ用メディアを必ず用意しておくこと。</p>
ソフトウェア

22 設備・機材・環境等

【アンチウイルスソフトウェア】

パソコンがウイルスに感染した場合、ネットショップ側のパソコンに不具合が生じるだけでなく、保存してある購入者のメールアドレス宛にウイルスをばらまいてしまう危険性があるので必ず導入する必要がある。

【画像編集ソフト】

デジタルカメラで撮影した画像サイズの修正や画像補正等に必要。人目を引くロゴやバナーを作成するときにも使用する。

【その他】

Microsoft Office もしくはこれと同等の機能を持つオフィス系ソフトは持っておいた方がよい。Word は書類や簡単なチラシ・カタログの作成に、Excel は売り上げのデータ等の集計・分析や商品管理・顧客管理等に活用する機会が多い。

◆作業環境

パソコンやプリンタは、作業スペースの動きやすさなどを考えて配置する。ネットショップの作業環境は、ルーティン業務の流れに沿って、スタッフがスムーズに動けるレイアウトが求められるからだ。具体的には、注文を受け付ける「デスク周り」、納品書や発送伝票等を出力する「プリンタ周り」、商品を置く「在庫スペース」、商品を梱包する「梱包作業場」の4つのブロックを「受注→梱包→発送」の作業が円滑に進むように配置する。

特に一連の作業を一人のスタッフによって行う場合には、この作業スペースの配置の良し悪しによって、作業時間も作業品質も大きく変わって来る。「プリンタ周り」→「在庫スペース」→「梱包作業場」については、“よく出る商品”は目立つ位置に、“大きな商品”は梱包スペースの近くに置くといった配慮も大切。

※参考文献「ネットショップ検定 公式テキスト」より一部抜粋

既に出店なさっている場合には、基本的な機材等はそろっていることだと思います。しかしながら、見直しをすることで、より効率的になることもあります。

現在お使いの機材の、よりハイクラスなモノへと変えていくことも忘れないでください。ネットショップが売れるようになってきますと効率が優先される場合もありますので、適した機材選びが必要となってきます。「なんでも上位クラスが良い」というわけではありませんので、状態に合わせた機材の導入にも気を配った方が賢明です。

安物のプリンターでのんびり印刷しているようでは間に合わない！という日が来ることを切に願っております。